

**「新庁舎建設基本設計（素案）に関する地区別説明会」質問・意見等の記録**  
**【会場：札内福祉センター】**

1	日 時	平成 25 年 5 月 29 日 (水) 14:11~15:39
2	会 場	札内福祉センター 2階大集会室
3	参加者	11人(ほか報道関係1人)
4	町出席者	総務部長、企画室長、建設部長、札内支所長、総務課長、企画室参事、 都市施設課長、企画室副主幹、建築係長、都市整備係長

**住民**

免震装置のスペース、地下になると思うが、そのスペースはどのくらいあるのか。人が入るだけの広さ（高さ）はあるのか。

**町**

免震装置は建物全体に配置するので、免震ピットという空間を地下に作ることになる。また、免震装置の取り換えの作業高さが必要となり、1階の床を支える梁の下から1.2mから1.4m位の有効空間を必要とする。

床から言うとかかなりの高さが必要となり、2.5m位の高さが必要であると考えている。

**住民**

見たことはあるのか。

**町**

帯広厚生病院の免震装置を見たことがある。その時は、3m位の高さがあったと記憶している。

**住民**

地下を駐車場として利用している施設があるが、新庁舎の地下を駐車場として有効利用する考えはあるか。

**町**

これまでの設計プランの中で地下の有効利用を検討してきたが、仮に駐車場にする場合にはスプリンクラー等の消火設備や排煙設備等の費用が必要となり、概略計算をしたところ1億1千万から1億2千万位増額になるとの試算であった。

このことについては、議会にも説明した経過があるが、仮に費用をかけて駐車場にした場合に駐車台数が35台位という計算になったが、1台当たりになると400万円位と非常に高額となることが判明した。

このことから、非常に割高な設備投資が必要となることから、現時点では地下を駐車場として活用することは設計に盛り込んではいない。

**住民**

非常用発電機を置くとのことですが、どこに置くのか。

**町**

3階の機械室に置くことになる。

**住民**

どれくらいの時間使えるものか。

町

三日間の自家発電が可能となる設備で考えている。

住民

それだけの物を3階に置くのか。

町

地下に置く場合は、免震装置の下になり免震が働かない場所に置くということになるため、免震が働く場所ということで3階を考えている。

住民

周辺に圧迫感を与えないということで3階建てにして建築面積を広げているが、地耐力についてはどの様になっているのか。N値は本当に取れているのか。

町

昨年実施した地耐力調査では、N値 30 以上は確実に出ている。また、正確な数字は持ち合わせていないが、おおよそ5m以深ではN値 50 以上の数字が出ている。

住民

免震構造にするメリットだが、防災対策上耐震設計という言葉は免震も入るが、一般的に住民説明会の時には耐震のみ。

耐震建物にしなくては倒壊する恐れがあるということで今回も説明会されているが、皆さんは耐震と言うが免震ということを入れていたのか。

町

建設工法として免震を含めた強い庁舎ということは意識していた。

それが免震であるか、制震であるか、耐震であるか、耐震の場合にあつては重要度係数、用途係数を1.5倍にするとか、防災拠点として地震に対する強度を確保するという事など、地盤状況や費用の問題も含めて協議をしてきた経過がある。

住民

国土交通省で耐震指標を出しているが、これについては当初から免震の考え方があると捉えているか。

町

建物を地震に対して強くするための方法としては、現在三つの方法がある。庁舎を強く作るということに関しては、免震ということを含めて検討を進めてきた。

住民

免震でなければこれからの地震に耐えられないと思っているのではないか。

3・11の東北の地震の震度7・マグニチュード9.0を想定しているのだろうが、新潟や阪神淡路は直下型地震で縦揺れであるからマグニチュードは低くても被害は大きかった。しかし、3・11の東北の地震では津波の被害が大きかった。この地震で倒壊した庁舎はあったか。

町

3・11については、震度7とデータ上では残っているが、地震による被害よりも津波による被害が大きかったというのは我々も把握している。

## 住民

2003年の十勝沖地震は、始めマグニチュード8.2であったが、被害が少なかったということで後になって8.0に下げている。

あの時も、震度6弱だったが、揺れで酷かったという話は聞いていなかったと思う。

そこで、今、免震にしなくてはならないメリットというのは、考えてみると揺れに対して中にいる人たち、町民が来ているときに地震が起き、当然揺れで怪我をしたりする可能性もあるが、物が倒れるだとか揺れて業務に支障が起きると言うが、わずか30秒か1分の間のこと。その間で、揺れを防ぐために免震にしなくてはならないと言うが、他にメリットって何があるのか。

## 町

どの程度大きな地震が来るか、ここ50年位の間には震度6や、平成15年には震度6弱の地震があり、現庁舎1階の柱がせん断破壊をしたという状況がある。又、内部についてはかなり書類関係が散乱したという状況であった。

また、今年の2月にあった震度5弱の地震についても、午後11時30分頃に発生し、片づけをして帰った時間が午前2時頃であった。

そうしたことから、地震発生時に住民の方々との様々な状況に対応していくためには、まず、パソコンが倒れることやデータが失われることや、書類が散乱するといった状況などについては、極力避けたいと考えている。

我々としては、耐震よりも免震の方が明らかに地震に対して強い建物であり有利な建物だろうということで、業務の継続性を含めて免震を想定している。

## 住民

災害対策室には、災害対応できる設備を入れる必要性は考えているのか。

## 町

災害の状況によるが、国が来る、自衛隊が来る、あるいは国土交通省が入って来るという時には、一般の会議室とは違う場所を確保しなくてはならないと考えている。又、フリーアクセスフロアと言うことも想定している。

## 住民

士幌から幕別を通して更別までの間に活断層があるのはご存知か。どこにあるか把握しているか。

## 町

国土地理院のホームページや新聞報道でも資料は提示されているかと思うが、札内では百年記念ホール（千住）辺りと把握している。

## 住民

幕別本町には活断層が走っていないが、札内には活断層が走っている。幕別本町自体には無いので庁舎を建てても直下型地震はないと思うが、わかりました、ありがとうございました。

## 住民

2年前に東北大震災があったが、地震があつてから申請してくれればJアラートの予算を支給してくれるというが、そういう災害に対するJアラートの設備を設置する予定はあるのか。

もう一つ、南側に設置する太陽光発電について、メンテナンス費用は掛からない様にすると言っているが、地震によって（パネルが）落下する可能性はないのか。

又、太陽光発電について、北海道の気象条件は曇りや雨が多いので効果が薄いのではないのか。

## 町

Jアラートについては、過去に各市町村に一つずつと言う事で国の補助を受けて既に設置している。現在は、Jアラートの情報を住民にスムーズに伝える手法がないという事から、今年度の予算で携帯電話を利用した「エリアメール」により避難情報をお知らせする仕組み作りに着手している。

太陽光発電のパネル取り付けの強度等については、国土交通省で定める基準に則って落下しない状況を確認したいと考えている。

又、曇りや雨の場合には発電効率が落ちると聞いているが、一部発電は可能と聞いている。更に、十勝については晴天日が道内でもトップレベルであると言われていることから、パネルを南面の壁面に設置したいと考えている。

## 住民

今、町では百年記念ホールとか建物がたくさんあるが、今までにどれだけのお金が掛かっているのか。尚且つ、23億円掛けると全体で幾らになるのか。これだけ見たら50年先の孫の代にまで借金を払っていかなくてはならない。そういうことを考えたら免震というのは余計なものである。帯広市役所は耐震設計だけでやっている。

更には、3階建て程度で免震なんて言っている。何を考えて免震と言っているのか。免震でなくてはならないなら、市役所は当然潰れてなくてはならない。そういうことも考えて実際に借金はどれだけあるのかを聞きたい。

## 町

財務推計の中に地方債残高の推移があり、地方債というのが町の一般会計の借金の残高ということになる。

平成19年度では229億円程あったが、新庁舎建設を行って20億円程の借金はすることになるが、平成32年度では159億円程になり以降150億円台に減っていき、右肩下がりに減っていくという推計になっている。

この地方債、起債と言われる制度は、建物等を造り、将来に亘って今の我々の世代、その子どもお孫さんなど、将来に向かって施設をお使いになる方にも少し負担をして頂くことで考えているもの。

このことは、どこの公共団体も一緒に、事業を行った際に将来的な負担も含めて負担の均衡化を図る意味からも、事業を行う時に借金をしている形になるので、全て0（ゼロ）とすることは厳しいが、出来るだけ無くなる様にしたいと考えている。

## 住民

芽室町では12億円の予算があって、今年、庁舎建設について議会に諮ったら全会一致で反対だった。何故だったか13億円を超えて庁舎を建てる25億円の庁舎は必要ない。そんなお金をかけるのだったら保険料安くすれと言うことになる。借金は無くても当たり前であって、良いということは到底考えられない。

## 町

家計で考えると、当然借金0（ゼロ）の方が良いのは間違いない。町の場合でも0（ゼロ）であることに越したことは無いが、どこの町でも地方債を借り入れて事業を行っている。財政の運営をするに当たっては、建物を建設する、道路を作るといった事業を行う場合においては、どこの町も借金をしており、これが0（ゼロ）になるという事にはならない。

幕別町の借金（起債）残高は管内の中では多いが、管外では幕別町よりも多いところがある。

以上のことから、どこの町も同じような財政運営を行っており、残高が少なくはないが借金を持っていても財政状況が良くないという事ではないので、ご理解を頂きたい。

## 住民

免震という話は初めて聞く。今まで進めてきたのは免震だったのか。

免震は、何階建てが基準なのか。新庁舎は3階建てとのことだが、それでも必要なのか。  
また、当初議会で新庁舎に係る費用は23億円であったと言っていたと思うが幾らだったのか。

町

現在計画している新庁舎は、3階建てである。釧路市にある日銀釧路支店が2階建てで、今年の5月に免震建物として完成した。また、他の自治体の庁舎建て替えて、3階又は4階建てで17の自治体が現在免震で建てようとしているケースがある。

免震の利点は、地震が起きた時に業務の継続性や、大きな地震で被害を受けた時の大規模な補修が掛からないという点にある。

どれほど大きな地震が発生するかは分からないが、例えば震度7の場合はかなり被害状況が生まれ、その為に費用が掛かってしまう。また、議論を頂いた中では、想定外ということを想定しなくては行けない時代にあって、現在持ち得る免震という技術があるのであれば、それを採用するのがより安全性の面で必要があるのではないかとご意見も頂いている。

我々としても、より安全な建物を後世に残していくと言う事で免震を採用したいとするもの。

住民

免震でなかったら、どれ位掛かるのか。

町

免震で建てる規模と同じものを耐震で建てる場合における差額は、1億6千万円程度と試算している。

また、当初の説明の際に、現庁舎の耐震診断を行った時に建て替えた場合の試算として23億6千万円という概算数字を出させて頂いた。

住民

折角建てる建物なので、良いものを建てて欲しいと思うが1億6千万円も上がるという。当初は23億円ではなかったかと思うが、当初の予算の中で出来るように考える必要があるのではないか。

町

23億円と言われるのは、庁舎の耐震化を図っていく場合に耐震改修をし、更に給排水や暖房設備がかなり老朽化していることから、それらの工事を一緒に行った場合にどれ位掛かって、或いは同じ規模ではなく当時としては6,000㎡で新築した場合に、どれ位掛かるのかを設計会社に依頼をした結果、出てきたのが23億円であった。当時としては、この金額の中に免震で建てるということまでを織り込んでいなかった。

このことから、議会が23.3億円を承認したとかそういう事実は無く、あくまでも改築するのか、改修するのかという判断の中で改築だったら耐震で23.3億円、耐震補強をして更に給排水等の改修をした場合には12億円程度掛かるという数字を出してもらったというのが、23億円という数字の出発点である。

住民

そうではなくて、あの時は5階建てで計算していたと思うが違うか。当初は何階建ての予定だったか。

町

当初は、3階建て6,000㎡で試算を行った。

住民

最初から3階建てだったということか。

町

3階建てと4階建ての両方で試算を行った。

住民

良いもので安全性が高いものの方が良いが、これ位でも良いという物を最大である必要があるのだろうかとも思うが、免震については必要ないと思う。

町

同様のご意見は、先般の説明会の中でも頂いている。

そうした状況の中、町としては安全な庁舎の建設に努めていきたいということから今回の素案をお示しさせて頂いたところ。

住民

免震構造でお金が掛かるから必要ないという話があったが、私は3階だとか5階だとか一番地震に強い構造は免震構造だと思う。このことから、免震構造は良いのだが、内地の市町村で備蓄食糧の確保についてニュースが流れているが、想像を絶するような地震があることから、避難場所や備蓄食糧の対策が必要ではないかと思うのがどう考えているのか。

町

今日は担当者が参加していないが、現在、防災計画の見直しをしており、庁舎に関して申し上げると、大きな災害が起きた時に災害復旧の拠点となるということから、そこに詰める人の備蓄に留めざるを得ない。

このことから、それ以外の備蓄食料等については、どの程度の量をどこに置いていくかなど、見直しをしている最中であることから、もう少し時間を頂きたいと考えている。